

## ♪ 残暑お見舞い申しあげます ♪

今年は、全国的に天候不順のまま、盛夏そして立秋を迎えてしまいました。皆様のお住まいの地域では豪雨等による被害は大丈夫でしたでしょうか？土地ご所有の皆様には白馬の夏の香り（情報）をお届けするべく書きかけていたこの原稿は、お盆時期に入り筆者が別荘の方々のご入居対応などを行っている間パソコンの中でお昼寝をしており～8月も後半となってしまいました。この10日程白馬でも漸く夏らしい天候となりました。高原の風吹き渡る白馬ならではの夏です。そして、空気はすでに秋のようです。毎朝、白馬三山が澄み切った空気の中に聳え立っています。さあ、秋便りにならないうちに急いでお届けしましょう。

### お知らせ

皆様のご所有地の樹木がすくすく？立派に伸びています。みそら野別荘地は分譲時から40年余の時間が経ち、とくに赤松の成長は著しいものがあります。白馬（に降る雪）も完全に温暖化の影響を受けています。赤松は弱いため、湿雪が積もった場合や強風によって枝は簡単に折れてしまいますし、場合によっては幹から折れることもあります。折れ方によっては、電線・隣地の建物・車に被害を与えてしまいます。毎冬、何件かの被害が発生しているのが現状です。緊急を要する場合は、ご連絡やご了解のないまま、弊社もしくは弊社が依頼をした伐採業者及び中部電力等によって伐採処理を行いますのでご了承ください。また、この作業（大掛かりな伐採をせざるを得ないような場合など）で生じた費用は所有者負担となりますので、その節はよろしくお願い致します。

『次の冬には何かが起こる・・・危ない！』と判断（予想）した場合、夏の間には伐採のお願いをすることがあります。＜根元からの伐採だけでなく頭止めという方法等もあります。＞この場合は、写真、処理見積等を添えて文書によるお知らせをさせていただきます。

### お知らせ

- ★売買・贈与・相続によって、所有者に変更があった場合は必ずご連絡ください。
- ★実際の所有者は変わったけれど、法務局の登記は変えていない場合もご相談ください。登記の方法説明や司法書士ご紹介します。
- ★所有者の住所や姓が変わった場合もその都度変更の登記をする必要があります。しかし、転勤の多い方がお引越しの度に住変登記するというのも大変なので、所有権移転時にそれまでの住所変更登記をまとめて行った上で、所有権移転させるという方法をとることができます。この場合、住民票プラス戸籍の附表が必要になる等準備書類は多くなります。
- ★所有者本人や共有者が海外にお住まいの場合は、売却（所有権移転）が出来ない場合がありますのでご注意ください。帰国された時に所有権移転登記の前準備をしておくという方法もありますのでご相談ください。

雪は降らねっし、スキーに来てくれる人は減ったし、妙に暖ったけえもんで昔はここいらには居なんだ猪や猿がでてくるし、若えもんは『ここには仕事がねえ』って南へ南へと出ていっちゃうしの・・・  
爺の独り言

## << 白馬（みそら野）不動産動向 >>

2007・2008と2年連続で上り調子になっていた白馬（みそら野）不動産売買。一転昨秋以降厳しい状態に落ち込んでしまいました。凝った仕掛けも緊急対策も通用しない筋金入りの壁のように感じます。

今回の白馬不動産状況・・・壁ぶち当たり瞬間冷凍凝固因子はあまりに明白。  
世界&日本経済そのままです。今回は、昨年9～10月を境に情勢が変わりました。経済的に厳しい状況に入った場合、生活密着部分優先はあたりまえ。経済的に余裕があっても、政治&経済の先行きが不透明な間は、様子見をするのもあたりまえ。別荘地に不動産投資なんて過去の話だし。世界経済同時冷え込みのあおりを受け為替急落のオーストラリア勢が撤退するのもあたりまえ。悲しいかな、これがこの一年です。

↑ ↑ ↑

（世の中の動きに耳を澄ましながらか数少ない引き合いには誠意で勝負！こんなときこそ正攻法を大切にしようと思います。それしかない！）

みそら野別荘地の不動産の具体的なお話ですが・・・区画総数約1,300件、うち売り物件は弊社取り扱い分が約90件。全体に対し約7パーセント。他社扱いを含めると全体の約1割が転売希望と考えられます。売却希望物件のうち、成約割合は、ここ数年2～3割で推移していましたが、この1年は1割を割り込みました。中古物件が善戦してたのですが、こちらもぱったりと止まっています。同封の情報誌『ラ・プラス』のP2下段には建物特集広告を載せ、土地を含めたみそら野不動産全体の転売突破口となることを目指してみました。

## 雑 記 帳

地球は、10枚ほどの厚い岩盤（プレート）に覆われています。丁度、卵の殻をイメージするとよいでしょう。日本付近では、この10枚のプレートのうち4枚がぶつかりあっています。北アルプス東側（白馬）では、ユーラシアプレートに北米プレートが潜り込んでいます。この線上に糸魚川ー静岡構造線という日本では有数の活断層が通っています。白馬・小谷は通常あまり大きな地震が無いところですが、この活断層を震源とする巨大地震が数十年のうちに起こる確率は高いといわれています。北アルプスがあんなに高いのもそして・・・3000m近くで海中生物の化石が発見されるのも・・・温泉があちこちで湧き出すのも・・・姫川を境に西（アルプス側）と東（妙高・戸隠方面）の地質がガラリと違うのも、和田峠が黒曜石の産地であったのも小滝川がヒスイの産地であったのも・・・簡単に言ってしまうと億単位の年月によるプレートの動きの成せる技なのです。ナウマン博士がハヶ岳西麓から北アルプス側を臨み発見したフォッサマグナとは、日本列島生成以前に現在の日本列島中央部にかつてあった大きな窪み（海）の上を埋めている新しい地層ですが、その西端も白馬・小谷では姫川沿いとなります。風光明媚で変化に富んだ大自然は、こんな複雑な地球表面の成り立ちによるのですね。

このところ、東海関東沖・沖縄九州沖・北海道等地震が多いですね。プレートの動きが共鳴してるのかな？などと 素人考えを持つのですが、同様の意見に対して気象庁は否定していました。地震国日本ですからどの地域にあっても地震への備えを！！

今年、秋の高原を代表する花（マツムシソウ）が例年より早く開花を始めたそうです。秋は早足でやってくる。

（大糸タイムス8月13日記事）

今秋は、長雨でキノコが豊作か！マイタケの生育が順調らしいです。（大糸タイムス8月20日記事）